

都道府県別賞一等

家族がくれた大切なお守り

徳島県 吉野川市立山川中学校 三学年

住吉 由莉佳

私の姉は今年の春に高校を卒業し、大学に進学しました。大学入学のために、入学試験から新生活を始めるための引越しまで、母は姉の進学準備でとても忙しそうでした。なぜなら、合格したときのために、入学金を用意したり、引越しや新生活の準備をしたりしていたからです。春休みに母と一緒に銀行に行ったときに、たくさんのお金を準備しているのを見て、

「大学に行くにはお金がたくさんいるん。」

と聞いてみました。すると母は、

「そうよ。大学に行くのにたくさんいるけど、今までも学校に行くためにたくさん教育費がかかってきたんよ。」

と聞いていました。そこで、大学卒業までにどれくらいの教育費がかかるのか調べてみると、国公立の学校に通ったとしても一千万円以上かかることがわかりました。学校に行くだけではなく、塾や習い事も含めると、二千万円近いのではないかと思えます。私は、驚きました。姉も私も大学に行くとなるとたくさんのお教育費がかかります。私は、姉は大学に行けても、私は行けないかもしれないと思ひ、少し心配になりました。そこで、母に聞いてみると、

「心配しなくてもいいよ。あなたが生まれてすぐ、学資準備のための保険に入ってるから大丈夫よ。」

と言われ、初めて学資準備のための保険というものを知りました。学資準備のための保険は、将来に必要な学費のための貯蓄であり、ケガや病気の際の保障もしてくれるものです。また、保護者が亡くなったときには、保険料が免除され、保障の継続や学費の受け取りができるものです。私はそれを知って、安心しました。

私の母は、二年前と八年前に二度大事故に遭ったことがあり、どちらも大事故だったので命を失っていたかもしれませぬ。そのことを考えるとまたいつ両親が病気や事故に遭ってしまうか、先のことはわかりませぬ。しかし、将来のことを思って計画的に準備をしてくれているので、安心です。私は将来、大学に進学して医者になりたいと思ひています。そのためにはたくさんのお教育費が必要になります。両親の思ひに応えるにも、頑張って勉強していかなくてはならないと思ひました。

保険についての話をする中で、学資準備のための保険とは別に、ケガや病気

第59回中学生作文コンクール

のための保険にも入ってくれていることを知りました。私は運動が好きで、体育の授業や部活を日々頑張っています。その中で、何度か骨折などのケガを経験しました。そのときも入っていた保険で医療費を支払うことができ、安心して治療を受けることができました。

保険は、将来のいざというときに役立つことがわかりました。そして、両親が私のことを大切に思っていて備えてくれていることもわかりました。将来安心して生活していくために生命保険は大切なお守りだと思えます。もし私が結婚して家族ができたときは、両親が私にしてくれたように、子供のために生命保険を活用して安心な生活が送れるようにしていきたいと思えます。